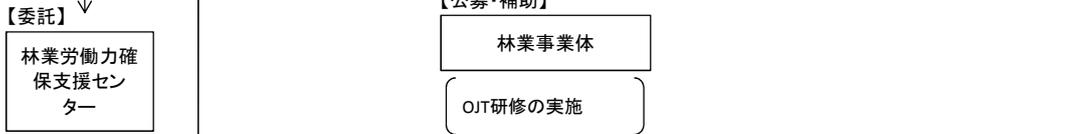
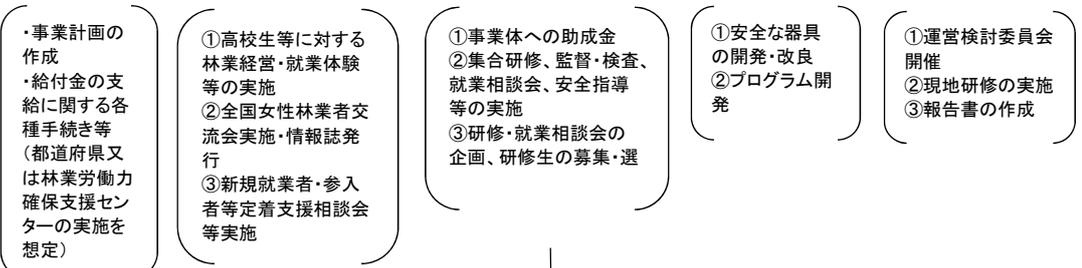
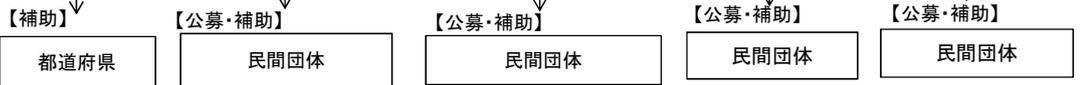
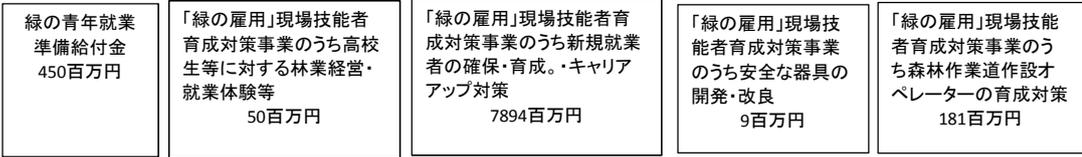


平成24年行政事業レビューシート (農林水産省)

事業名	「緑の新規就業」総合支援事業	担当部局庁	林野庁 林政部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度～平成27年度	担当課室	経営課 林業労働対策室	林業労働対策室長 井出 光俊				
会計区分	一般会計	施策名	⑬林業の持続的かつ健全な発展					
根拠法令(具体的な条項も記載)	森林・林業基本法第21条	関係する計画、通知等	森林・林業基本計画(平成23年7月26日閣議決定) 日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	林業への就業に向けた活動を支援することにより就業希望者の裾野を広げるとともに、「緑の雇用」事業において、既存の対策を着実に推進しつつ、新たに安全かつ安心して働けるよう就業環境を整備する対策を実施することにより、森林・林業の再生を担う人材の定着を図り、林業が名実ともに魅力ある成長分野産業となることを目指す。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)緑の青年就業準備給付金 林業の担い手の確保・育成を図るため、就業準備段階における資金の給付 (2)「緑の雇用」現場技能者育成対策事業 (ア)新規就業者の確保・育成・キャリアアップ ① 林業への新規就業者の確保に向けた就業体験やガイダンス、作業実態等の理解を図るためのトライアル雇用 ② 林業経験のない方が基本的な技術を習得するための3年間のOJT研修等に加え、育成する人材の定着に向け、安全教育を徹底させるためのOJT研修の追加実施等及び就業環境整備 ③ 現場管理責任者等に必要な知識・技術を習得するためのキャリアアップ研修 (イ)森林作業道作設オペレーター育成 丈夫で簡易な森林作業道を作設するオペレーターを育成するための研修の実施に必要な経費を支援							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	8,584	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-	8,584	
	執行額	-	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (①32、②25年度)	
	①32年度までにフォレストマネージャー等5,000人を育成		成果実績	人	-	-	-	①5,000 ②1,500
	②25年度までに森林作業道作設オペレーター1,500人を育成		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	25年度活動見込	
	①給付金支給対象者数250人 ②フォレストマネージャー等研修修了者数350人 ③森林作業道作設オペレーター研修修了者数920人		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	①- ②- ③- ①(250) ②(350) ③(920)
					(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-	算出根拠	執行額/活動実績 ※活動内容ごとに、単位当たりコストを算出					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	(1)緑の青年就業準備給付金	-	450	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(農林漁業分野) 3,285				
	(2)-ア(3)新規就業者の確保・育成・キャリアアップ 新規就業者確保対策	-	7,953					
	新規就業者育成対策	-	195					
	キャリアアップ対策	-	6,806					
	事業推進費等	-	144					
	(2)-イ 森林作業道作設オペレーター育成 研修実施費	-	808					
		-	181					
		-	181					
	計	-	8,584					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	森林・林業の再生に必要な人材を確保するためには、林業への就業希望者の裾野を拡大させることが必要である。また、森林・林業を再生させるためには、間伐や道づくり等を効率的に行える現場技能者を段階的かつ体系的に育成し、その定着を図ることが必要であるため優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等を踏まえて事業案が作成されている。 <p>【事業の成果目標、活動指標が立てられているか。また、事業効果のシミュレーションが厳密に行われているか、その際、より効率的な他の手段の選択の可能性について、真剣な検討が行われているか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、フォレストマネージャー等の育成人数により成果目標及び活動指標を立てて、事業に取り組むこととしている。また、これまでの「緑の雇用」事業等人材の確保・育成への投資が着実に成果を上げている実態を踏まえ、本事業においても同様の手法をとるものである。 <p>【直接の利害関係者からの要望にとどまらず、広く国民のニーズに答えるものとなっているか。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、多面的な機能を有する森林を適切に整備していく上で不可欠な人材の確保・育成及び定着を図るものであり、広く国民のニーズに応えるものである。 <p>【そもそも立案しようとしている事業は、当該府省のミッションなのか】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、人工林資源を有効活用し、国産材の安定供給に必要な間伐や道づくり等を効率的に行える現場技能者の育成等を行うものであり、農林水産省として取り組むべき事業である。 		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>指示されている「過去の事業仕分け等の結果や横断的な見直し基準等」、「事業の成果目標及び活動指標の設定等」、「広い国民からのニーズへの対応」、「当省のミッションか否か」等に係る点検を行ったが、新規に要求する事業としては問題ない。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	新0043

農林水産省
8,584百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)